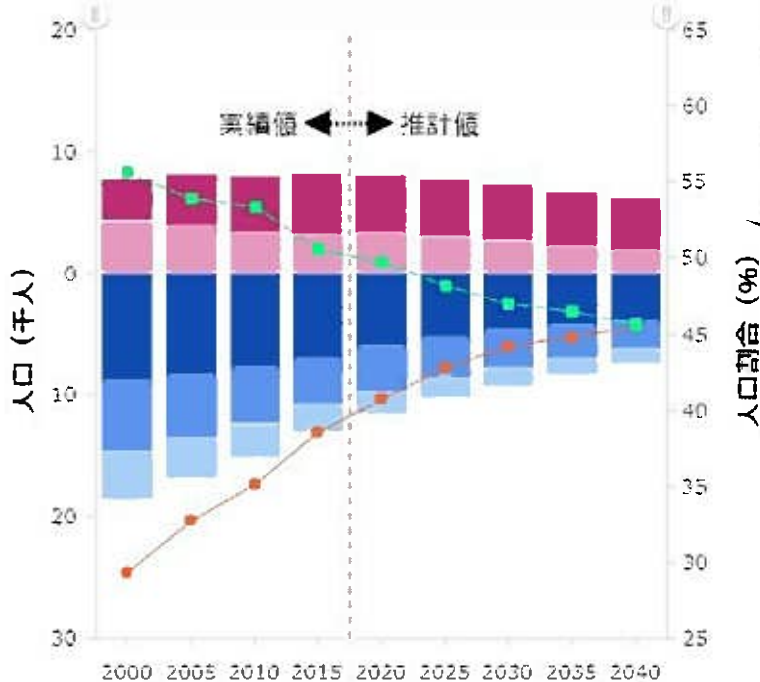


～令和元年度 第1回介護保険運営協議会～

「見える化システム」からみる 阿久根市

阿久根市 介護長寿課

阿久根市の人口の推移



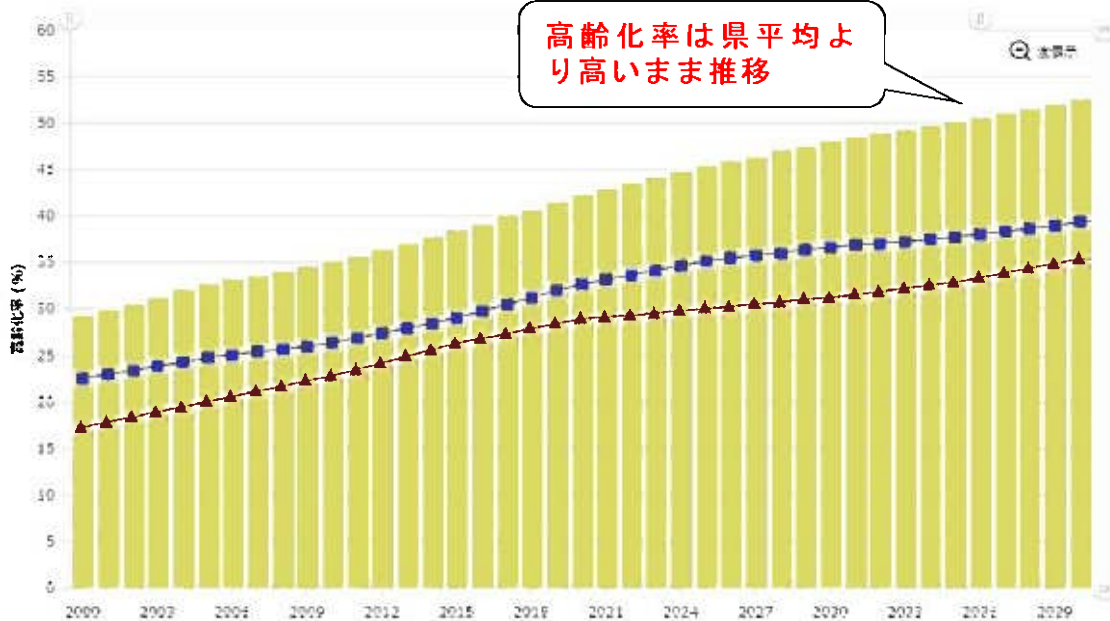
阿久根市の高齢化率の順位		
(2015年10月時点)		
鹿児島県内	8番目	43保険者
全国	255番目	1,565保険者
(2025年の推計値)		
鹿児島県内	13番目	43保険者
全国	309番目	1,512保険者
(2040年の推計値)		
鹿児島県内	12番目	43保険者
全国	346番目	1,512保険者

生産年齢人口は減少
高齢者人口は増加後
緩やかに減少

- 75歳以上
- 65歳～75歳未満
- 40歳～65歳未満
- 15歳～40歳未満
- 15歳未満
- 高齢化率
- 生産年齢人口割合

(注) 2000年～2015年まで：総務省「国勢調査」
2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）」

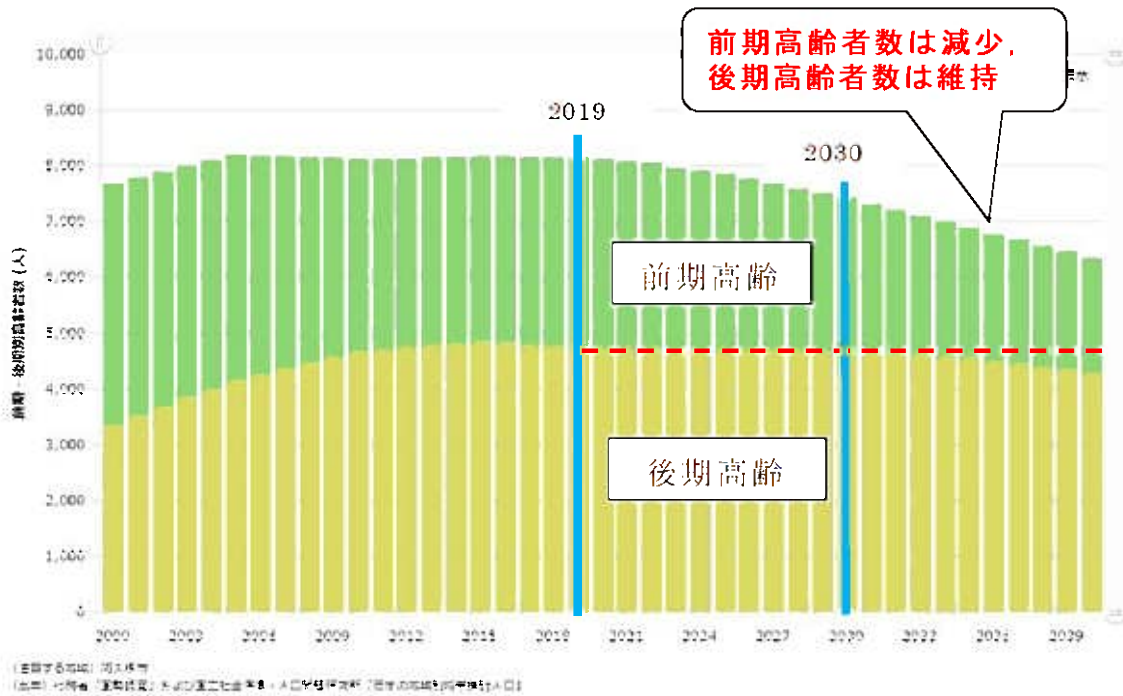
高齢化率



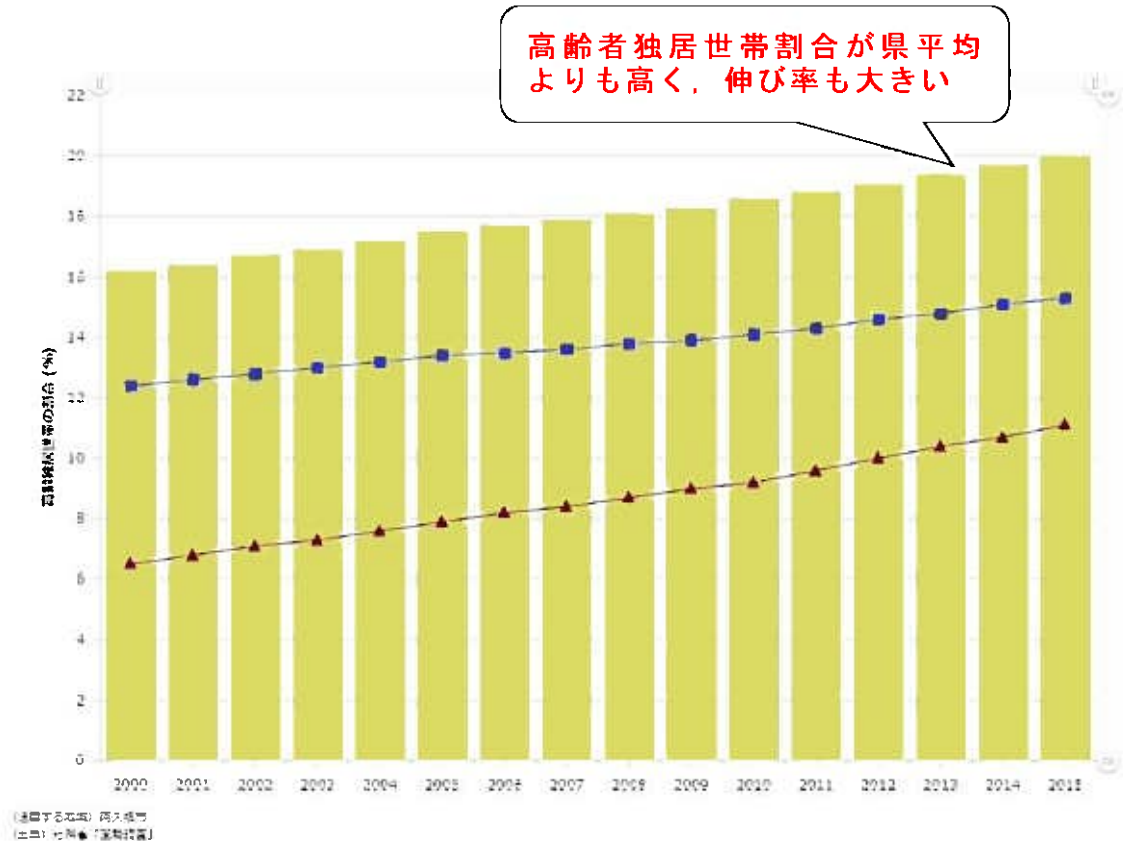
高齢化率は県平均より
高いまま推移

(全国平均) 阿久根市
(出典) 総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

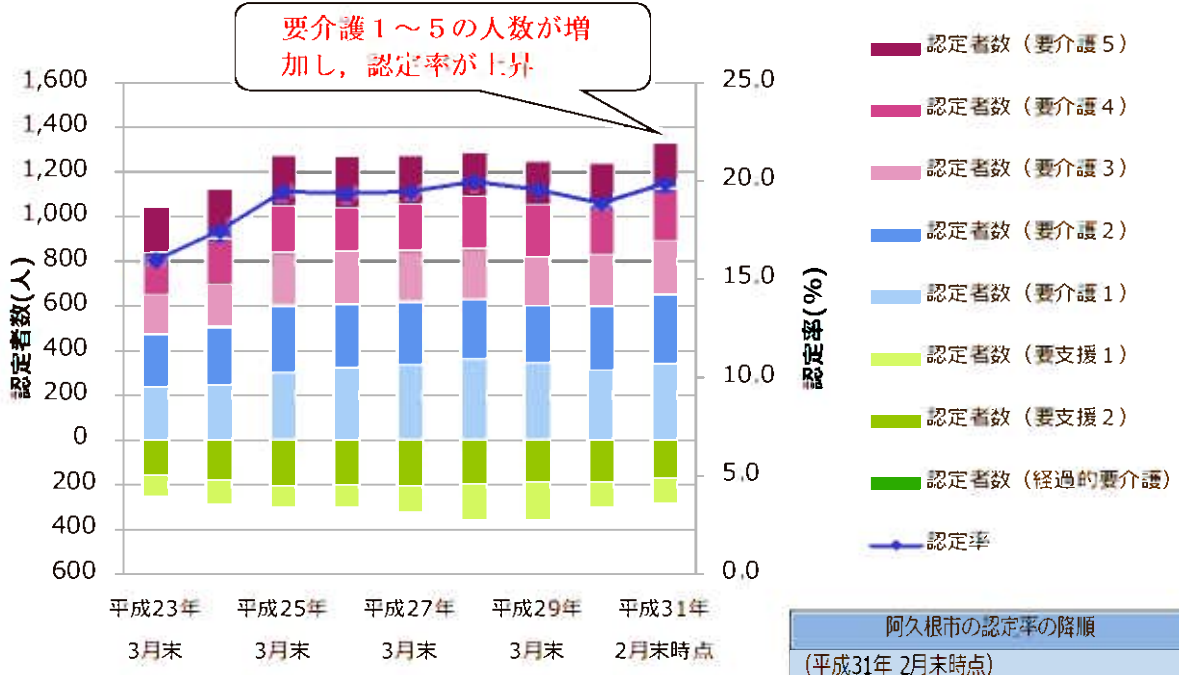
前期・後期別高齢者数 推計



高齢者独居世帯の割合

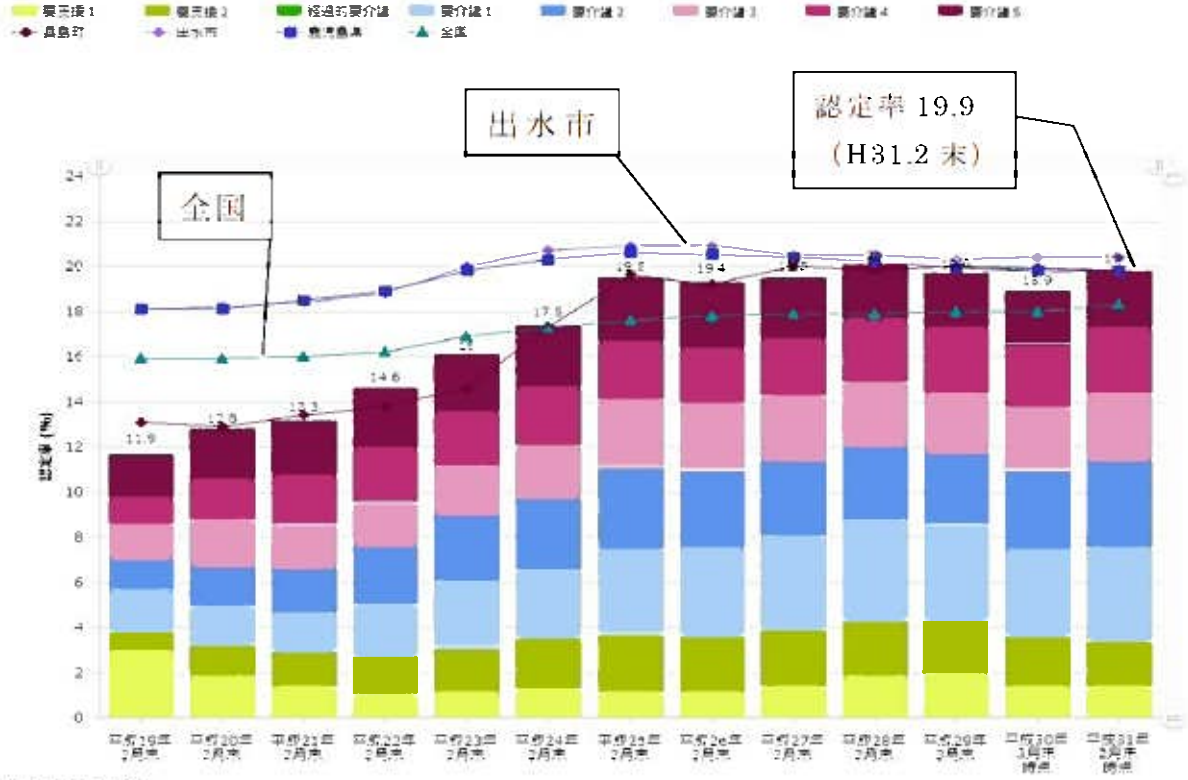


要介護（支援）認定者数，認定率の推移



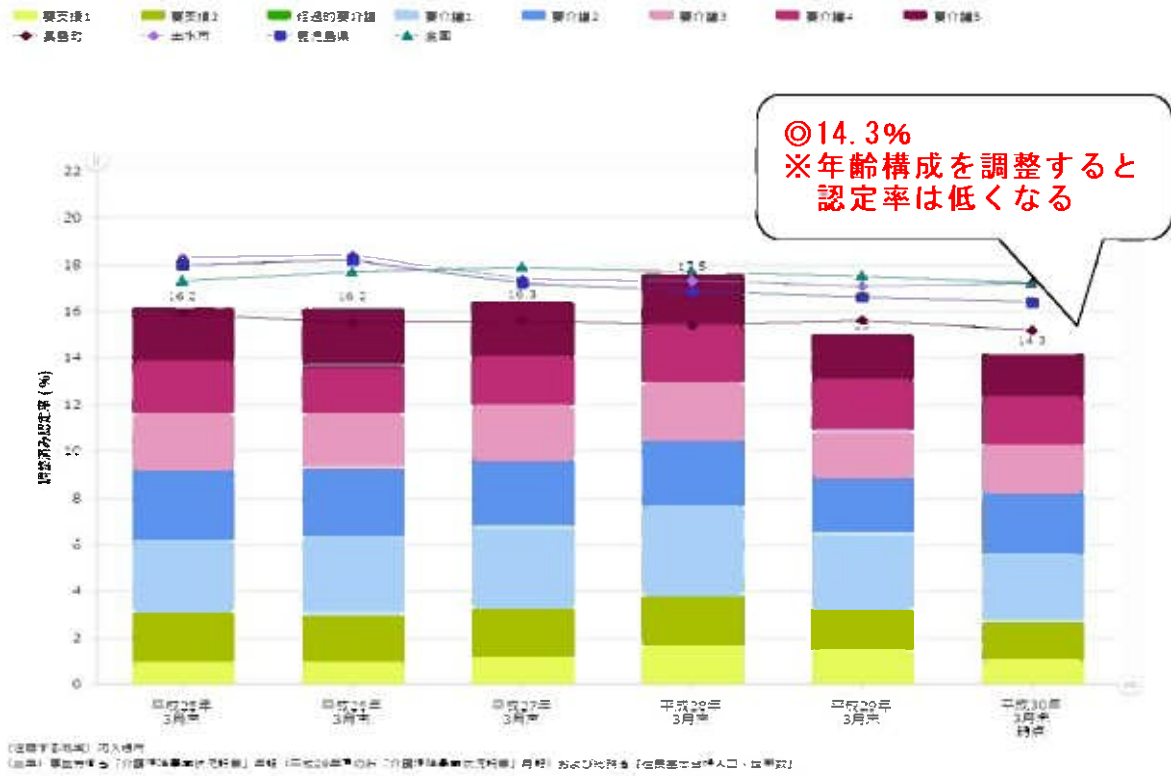
阿久根市の認定率の降順 (平成31年 2月末時点)		
鹿児島県内	13番目	43保険者
全国	356番目	1,571保険者

認定率の推移

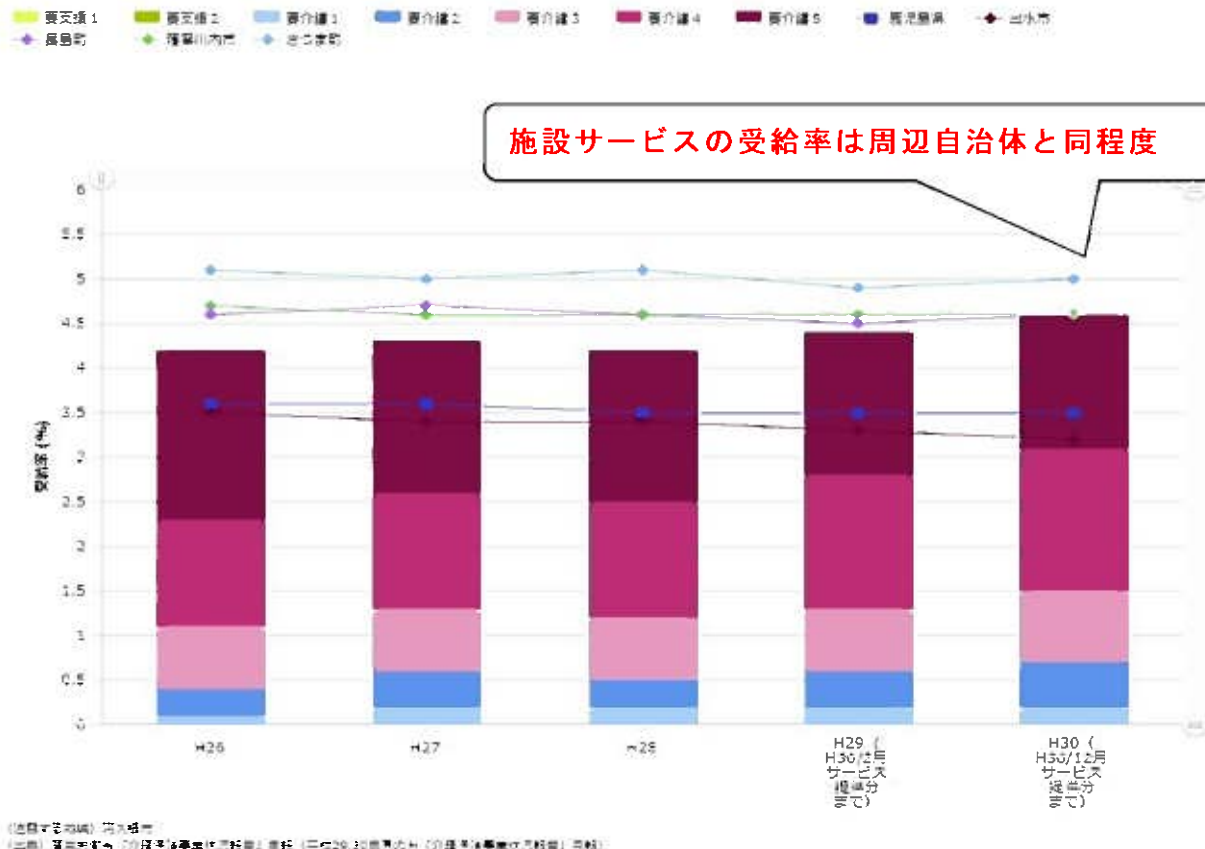


(資料元) 国・県庁 鹿児島県
(出典) 鹿児島県庁「介護保険制度の推移」資料（平成29,30年度版）、「介護保険制度の推移」資料

調整済み認定率の推移



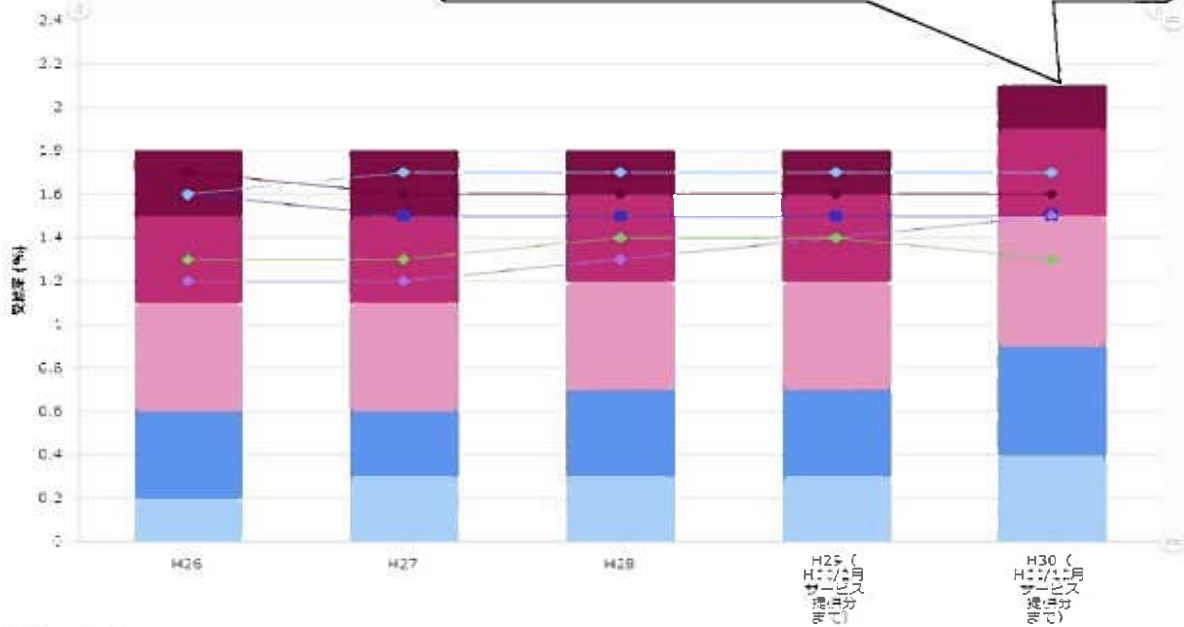
受給率（施設サービス）（要介護度別）



受給率（居住系サービス）（要介護度別）

■ 要介護1 ■ 要介護2 ■ 要介護1 ■ 要介護2 ■ 要介護3 ■ 要介護4 ■ 要介護5 ■ 要介護度不明 ◆ 出欠率
◆ 梶島町 ◆ 羅翠川内市 ◆ 道庁事務所

居住系サービスの受給率は周辺自治体より高い

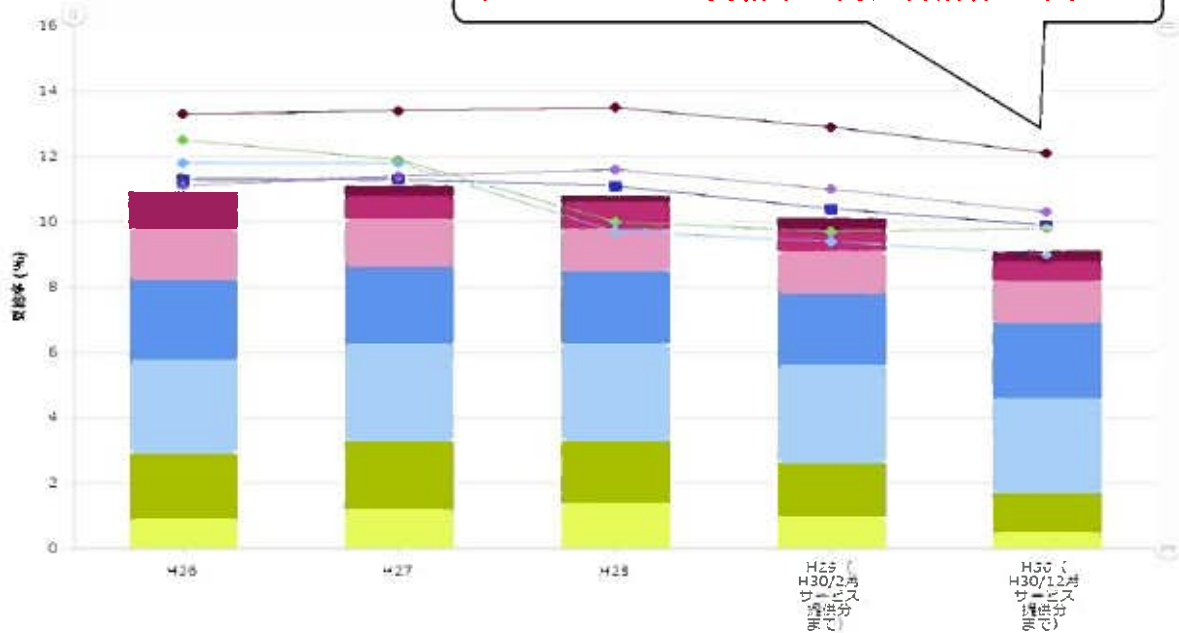


(国庫平等地域) 河内権市
 (出典) 梶島町「介護保険事業状況報告」資料（平成26、30年度のみ「介護保険事業状況報告」資料）

受給率（在宅サービス）（要介護度別）

■ 要介護1 ■ 要介護2 ■ 要介護1 ■ 要介護2 ■ 要介護3 ■ 要介護4 ■ 要介護5 ■ 要介護度不明 ◆ 出欠率
◆ 梶島町 ◆ 羅翠川内市 ◆ 道庁事務所

在宅サービスの受給率は周辺自治体より低い



(国庫平等地域) 河内権市
 (出典) 梶島町「介護保険事業状況報告」資料（平成26、30年度のみ「介護保険事業状況報告」資料）

阿久根市の介護保険を取り巻く状況と課題

- ① 生産年齢人口は減少傾向、高齢者人口は増加傾向にあり、高齢化率は県平均より高い値で推移する見込みである。後期高齢者人口の割合が大きくなると推計されており、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくためには、身近な地区における住民のニーズに応じた生活支援の充実が求められる。
- ② 認定者数及び認定率が増加する傾向にあるが、年齢構成の影響を調整した認定率が低いことから、介護予防の取組等の効果が表れていると考えられる。今後も要介護認定の適正化の取組や総合事業の影響等も踏まえて多角的に分析する必要がある。
- ③ 周辺自治体と比べ在宅サービスの受給率が低く、居住系サービスの受給率が高い傾向にあることから、介護施設の整備状況や入所待機者数の推移、高齢者のニーズ及び認定者の状況等を踏まえて、今後も必要なサービスや需要量を分析し、住み慣れた自宅での生活を支援するサービス体制整備に引き続き取り組む必要がある。